

# 日本とは馴染みの深い花

## < 植物名 >

**ダイアンサス**  
カラナデシコ  
ピンク

## 水やり

水やりは土がいったん乾いてからする。過湿を避ける。

## 置き場所

日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

## 用土肥料

多肥を避ける。

## 植え替え

特記事項なし。

## ふやし方

タネまき、株分け、挿木

## 冬越し

特記事項なし。

**使い方** 花壇、鉢植え、切り花

**学名** Dianthus

**英名**

**属名** ナデシコ

**科名** ナデシコ

**性状(分類)** 多年草、常緑性

**原産地** ヨーロッパ,地中海沿岸,アジア,熱帯,南アフリカ山地

**花の色** ピンク

**開花期** 3～12月

**購入時期**

**草丈** 30～80cm

**ID** 874

**季節** 春 夏 秋 冬

**JFコード** 28009



## 冬越しと置き場所

耐寒性がある。日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

## その他の解説

多肥を避ける。。耐乾性がある。法面・水田緑化に向く。

## 特徴1

秋の七草の一つで、日本とは馴染みの深い花。水やりは土がいったん乾いてからする。過湿を避ける。

## 特徴2

秋の七草の一つで、日本全土の山野、川原に普通に見られる。'大和撫子'という言葉があるように、日本とは馴染みの深い花。ヨーロッパでは、ロックガーデンを彩る花として親しまれている。茎にやや肥厚した節があり、その上の方の節から数本の細かい側枝を出して、秋に淡紅色の花を咲かせる。3～4対ある苞の先はとがり、花卉の縁は糸状になっている。